

## 8. 山形大学医学部 (国立) Yamagata University Faculty of Medicine

<http://www.id.yamagata-u.ac.jp/>

〒990-8560 山形市飯田西 2-2-2

電話023-628-5051

FAX023-628-5058

e-mail : igakyo2@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

教養課程

〒990-8560 山形市小白川町 1-4-12

専門・教養課程所在地間の最寄交通機関による所要時間 約20分

### 1. カリキュラム全般について

A. 一般教育（教養）と専門教育との関係：

- 1) 学則上は一般教育（教養）部門を独立して設けている。
- 2) 一般教育（教養）の学習は1年生のみで行われる。
- 3) 専門教育（準備教育は除く）の学習は2年生から開始する。

B. 教授会は一般教育（教養）と専門教育とで常に別々に開催される。

C. 学生や教員や地域住民などに対し、医学部・医科大学としての一般目標や理念が印刷物や看板・ホームページなどのメディアで示されている。

D. 学生や教員が学習内容を予め知ることができるように、授業科目の学習目標（一般目標や行動目標）、授業内容、担当者などを印刷物（シラバス）ですべて示してあり、その印刷物をシラバス（授業計画）という。

E. 4年生大学既卒者（学士編入生）は卒業学部にかかわらず すべて1年生に入学する。

F. 1年生の入学時オリエンテーションは1日間行うが合宿ではない。

G. Early Exposure（医学教育の早い時期に医学・医療の場に接し動機づけを試みる教育）を行っている学年は1年生である。

その期間と内容：1年生：11日間：内容：救急車同乗実習

H. PBL/チュートリアル（小グループで行う問題解決型学習）が導入されている。

コアタイムの時間は

2年生は、平均して週1時間×年間5回、である。

3年生は、平均して週12時間×年間1回、である。

自習用に割り当てられている時間は

3年生は、平均して週2時間×年間12回、である。

チューターは主として基礎医学系の教員が行う。

チューター養成のためのトレーニングプログラムや講習会などが行われている。

I. 細胞・組織レベル、ないしは臓器系統別の統合カリキュラムを多くの部分で採用している。

J. 平成17年以降、大幅なカリキュラム改訂は行われていない。なお、現行カリキュラムの特色は下記のとおりである。

・臨床腫瘍学，臨床感染症学，漢方東洋医学，地域医療学，高度選択臨床実習（クリニカルクラークシップ）

K. 今後のカリキュラム改訂は

随時，追加・修正等を行う予定である

L. 現在学内で、医学教育について検討されている事項は下記の点である。

できるかぎり、卒業研修の項目を卒業前に組み入れたい

## 2. 選択制について

専門教科について選択制を採用している

専門教科で選択制としている教科は下記のとおりである。

医学英語、生命科学演習

## 3. 一般教育（教養）について

A. 医学部医学科以外の学部や学科のある大学に伺います。

一般教育（教養）の授業は他学部（他学科）の学生と一緒に受ける。

B. 他大学との単位互換について認めていない。

D. 一般教育（教養）部門ではほとんどが選択科目である。

E. 平成19年新生で、高等学校などで「生物」を履修していない学生は34%であった。

「生物」を履修しなかった学生に対して補習ないしは選択で授業を行っている。

F. 平成19年新生にはセンター試験が導入されていた。

入学者のうち「生物」を選択していた学生は約66%であった。

## 4. 基礎医学教室ないしは社会医学教室（研究室）配属について

A. 学生が一時期、基礎医学教室ないしは社会医学教室（研究室）に配属されるシステムがあり、全員が3年生の時に平均して1週40時間×4週間配属される。

## 5. 臨床実習（外来実習、BSL、クリニカル・クラークシップを含む）について

A. 臨床実習前に、まとまった形で医療面接・診察技法（例：臨床実習入門など）の学習を行っている。（14日間）

身体診察の学習に医師や学生以外の標準模擬患者（SP）を導入している。

B. 臨床実習の実施学年とその期間は（早朝や時間外は省略）

4年の時、1週40時間で、8週間である。

5年の時、1週40時間で、36週間である。

6年の時、1週40時間で、16週間である。

C. 臨床実習科目は全科目を必修としている。

D. 大学の附属病院以外の施設（国・公・私立病院や保健所・老健施設などでの実習、国内外を問わない）で臨床実習を行っている。

その期間は全部で24週で、

そこで行う実習科目は（各臨床講座が判断している）である。

この大学外の実習の場合の交通費は学生が自分で支払う。

E. クリニカルクラークシップは臨床実習を行うすべての科で導入している。

F. 臨床実習のための手引書は印刷物として配布されていて、それにはスケジュール、到達目標、医行為の範囲、評価法が記載されている。

G. 臨床実習の評価として各診療科ごとの評価基準があらかじめ学生に示されている。

学習終了後に基本的臨床能力試験（OSCE）を行っている。

臨床実習の評価結果は合否（進級）の判定（総括評価）に用いられる。

そして不合格の場合は、不合格科目のみ再度臨床実習を行う。

H. 臨床実習中の学生の安全管理対策については

マニュアルが刊行されている。

事前に学習棒を設けて学習している。

保険制度に加入している。

ワクチン接種を行っている。

6. 学生の海外における実習について

A. 学生の海外における実習は行っていない。

7. 評価について

A. 進級判定が行われるのは1年終了時、2年終了時、3年終了時、4年終了時、5年終了時である。

B. 成績の記録法は

点数制を採用している。

C. 卒業判定のための試験は行われていて、それは講座ごとと総合試験の両方である。

時期は9月から12月まで、期間は10週間（長期休暇期間を除く）である。

D. 6年生の10月以降には、系統講義が組まれている。

また、大学による国家試験対策のための特別な講義が行われたことはない。

E. 卒前教育に携わっている教員に対し、教育業績の評価が行われ、その評価を行うのは、学生、自己である。

自己評価以外の評価結果は本人にフィードバックされる。

その評価結果は昇進などに関係しない。

F. 過去2年間に、卒前教育全体に対する第三者評価が行われることはない。

8. 教員について（医学部・医学科および大学院学生の教育を担当する教員）

A. 教員数（平成19年12月現在）

		教 養*	基 礎**	臨 床***	附属研究施設	その他	合 計
常勤 (有給専任)	教 授		13	21			34
	准教授		12	19	1		32
	講 師		3	35	1		39
	助 教		20	100	1		121
	その他						0
	合 計	0	48	175	3	0	226

非常勤 (客員・無給を含む)	教 授		6				6
	准教授					1	1
	講 師			24		226	250
	助 教					1	1
	その他						0
	合 計	0	6	24	0	228	258

\* 教養の常勤者は医学部所属者のみに限る。総合大学で医学部所属者がいない場合は空欄とする。

\*\* 基礎は社会医学を含む。

\*\*\* 臨床は附属病院・分院を含む。

B. 常勤の教員の任期制の制度を取り入れている。

任期制の制度の概要は下記のとおりである。

5年毎に教育・研究・臨床・社会的貢献等についての資料作成し、評価を受ける。
---------------------------------------

C. 教員や臨床実習時の指導医の医療事故に対する対応策については、取り決められていて、何らかの保険制度に、任意で加入している。

9. 学生数（平成19年12月現在）

学 年	総 数	うち 女子 人数	うち学士編入者数	うち今年度留年者 数（今年度のみ）	うち休学者数	うち外国人 留学生	
							うち 女子 人数
1	101	32	0	1	0	0	0
2	113	40	0	16	4	0	0
3	98	46	0	2	2	0	0
4	99	36	0	1	0	0	0
5	99	46	0	0	1	0	0
6	104	45	0	4	0	0	0
合計	614	245	0	24	7	0	0

10. 平成19年4月（今年）の医学部受験状況（編入は含まず、1年生のみ）

受験者数417名、合格者数100名、倍率4.2倍

入学者数100名、（定員100名、うち推薦入学者数25名）

入学者の状況：現役42名、1浪27名、2浪16名、その他15名、

定員外に別試験で入学した外国人学生0名、

センター試験を導入している。

センター試験で理科を何科目課しているか

2単科目

12. 平成18年4月（昨年）の医学部受験状況（編入は含まず、1年生のみ）

受験者数584名、合格者数101名、倍率5.8倍

入学者数100名、（定員100名、うち推薦入学者数35名）

入学者の状況：現役50名、1浪24名、2浪17名、その他9名、

定員外に別試験で入学した外国人学生0名、

センター試験を導入している

設問13. 平成18年（昨年）の1年生以外の編入学状況

B. 編入学者地域わくについて

地域わくは無い。

14. 授業時間配分

(1) 学期区分

学 年	学期制なし	学期制あり		総時間数		
		2学期制	3学期制	講義	実習	PBL/ チュートリアル
1		○		134	80	0
2		○		610	400	0
3		○		1,096	167	0
4		○		695	20	0
5		○		93	1,253	0
6		○		103	473	0

（アーリーエクスポージャーは実習時間数に含める。）

(2) 土曜日の授業（講義または実習）は全学年ない

(3) 時間配分の概略図（授業区分のブロック図）

新カリキュラム（総合）

1 年	2 年		3 年		4 年		5 年	6 年
A	B	C	D				G	
			E	F				

（註） A：教養（一般教育，基礎教育）

B：基礎医学（生理系：解剖，生理，生化等）

C：基礎医学（病理系：病理，微生物，薬理，寄生虫等）

D：社会医学（衛生，公衛，法医）

E：基礎及び臨床医学への配属

F：臓器別総合カリキュラム・全身性疾患学

G：臨床実習・卒業試験・特別講義

15. 医学専門教育（専門課程）の教科別授業時間数

授業科目名	講義時間数	実習時間数	合計時間数
基礎人間行動学	14		14
基礎社会学	14		14
基礎生命科学	96		96
早期医学・医療体験	10	80	90
人体構造学	187	186	373
人体機能学	73	27	100
医学・医療原論。	23		23
生体薬理・物理学	53	13	66
生体防御学	142	25	167
人体物質代謝学	52	42	94
基礎腫瘍学	17		17
病理病態学	63	30	93
生命科学演習		77	77
基本診断学	213		213
○臓器疾患学	730		730
医学英語	48		48
社会医学・医療学	105	50	155
研究室研修		117	117
病理	20		20
全身性疾患学	380		380
基本診療学	92		92
基本診療技能学	77	13	90
漢方東洋医学	13		13
地域医療学	7	7	14
臨床腫瘍学	13		13
臨床感染症学	10		10
○系統別症候学	50		50
リハビリテーション	13		13
医学医療原論	20		20
臨床実習		2308	2308
特別講義	108		108
合 計	2643	2975	5618

各学年における講義時間数、実習時間数について

	講義時間数	実習時間数	合計時間数
1 学年	134	80	214
2 学年	610	400	1010
3 学年	1116	167	1283
4 学年	675	332	1007
5 学年	0	1392	1392
6 学年	108	604	712
合 計	2643	2975	5618

**16. その他の教育内容**

独立した科目として授業が行われている科目：

人類遺伝学（臨床遺伝学）（必修）、行動科学（必修）、医学外国語（選択）、医療安全（必修）、医の倫理（必修）、緩和ケア（必修）、医療経済（必修）、医療情報学（必修）、高齢医学（必修）、プライマリ・ケア（必修）、臨床医学（必修）

独立した科目として授業が行われていない科目：

医史学、医用（電子）工学、医療福祉学（医療社会福祉学）、在宅ケア・介護、家庭医学、人間関係学、医療保険

**18. MD-PhDコースを設置していない。**